

新型コロナウイルス感染症対策・ 運行開始前点検の実演PRイベント ～貸切バスで安全・安心な沖縄旅行を！～



10月9日(金)に、「貸切バスで安全・安心な沖縄旅行を」と題したイベントを(一社)沖縄県バス協会と合同で開催しました。

当日は、乗車の際の消毒、車内消毒の実演、運行開始前の点検の実演等感染防止対策の実施状況の実演を行いました。



バス車内消毒の実演



運行開始前点検の実演

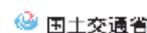
新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄県内においても人の動きが激減し、インバウンド客に至っては”ほぼゼロ”の状況が続いており、バス業界、観光業界が、大変な苦戦を強いられています。

こうしたなか、バス業界では、「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」を策定し、徹底した感染防止対策に取り組んでいます。また、観光バスの新型コロナウイルス感染症に対する安全性については、公的な研究機関である(独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所において、9月25日(金)に空気流動を可視化する実験が実施され、観光バスの優れた換気能力が確認されています。(資料1)

県内各事業者においては、激減した需要の回復に向け、感染防止対策及び安全運行の励行等様々な取り組みを行っており、「安全・安心」の確保に努めています。

今後も、貸切バスが多くの方にご利用いただけることを期待します。

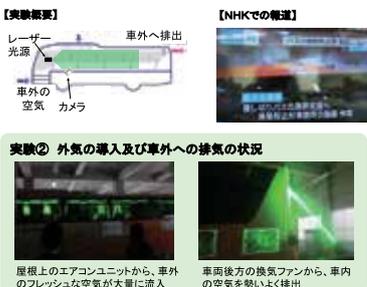
観光バスの優れた車内換気能力について



- 観光バスは、窓閉めの状態でも約5分で車内換気を行うことが可能。
※エアコンを外気導入モードで使用。また、8割以上の車面では、窓開けによる換気も可能
- 優れた換気能力について確認するため、9月25日(金)に、公的な研究機関である(独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所において、空気流動を可視化する実験を実施。

交通安全環境研究所の実験(9月25日)

スモークとレーザー光源を用いて、空気流動を可視化。
(実験結果は、当日夕方のNHKニュースで報道)



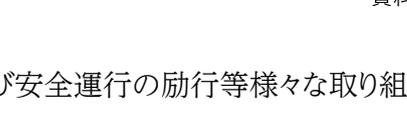
実験① 車内の換気状況



実験② 外気の導入及び車外への排気状況



実験③ 乗客の顔付近の高さにおける空気流動状況



資料1